

7-2 地球の未来を担う子ども達の将来を見据えて取り組む研究・活動

いよいよ冬休みがやってきます！継続的な研究や活動及び春に向けての計画を組むには大切な時期です。冬休みを使って自分の将来の夢を実現させるための一歩を踏み出してみても如何でしょう。お子さんの受験を考えている保護者の皆様はご存じの通り、幼少の頃よりSDGsに関わる研究・活動を継続して学校の友人、教師、保護者、地域社会の人々と関わりを持ちながら取り組むと持続可能な社会の実現に向けての豊かな心情や行動が育まれます。子ども達は研究・活動の継続過程において経験知を高めることができます。

大学入試においても経験知を評価する総合型選抜が実施されており、大学・短大・学部が定める「求める学生像」に合った人物を採用する方式を行っている大学は多く、現在では国公立私立大学の7割以上が実施しています。この入試では、コンテスト上位入賞者や特定の資格取得者及びこれまでに顕著な活動を継続して行ってきた者の「活動報告書」を各教科の成績とあわせて選抜しています。

〈参照〉「文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室入学者選抜実施要項」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senbatsu/1346785.htm

また、中学校、高等学校の受験も学校によっては大学と類似の入試スタイルをとっている場合があります。

各地域、ご家庭でも子ども達と一緒に地球温暖化防止活動に関係する研究・活動を継続して、SDGsの目標を達成しようとする子ども達が育まれるようにご支援いただければと思います。

総合型選抜による受験を考えている小学校4年生、中学校1年生、高校1年生にとって、この時期に来年度への計画を立て、研究・活動の継続及び準備をすることは、とても重要です。それは、「活動報告書」を作成するにあたり、小学校5年生、中学校2年生、高校2年生～小学校6年生、中学校3年生、高校3年生の1学期末から9月頃までの実績が必要となるからです。各校種の最終学年になりますと、受験手続きを行う前までに結果が出ない場合があります。よって、最終学年の研究・活動は結果が出ていない場合、継続中または審査中という表記となります。この点を留意し研究・活動に取り組む必要があります。

以下に政府関連機関が主催又は後援している児童生徒を対象にしたコンクールを参考として記載します。計画を立てる前に、各コンクールの上位作品及び活動を書籍及びインターネットにて確認し、参考にすると良いでしょう。

- 地球教室「かんきょう新聞コンクール」小学生
- 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト
- 「小学生かべ新聞コンテスト」小学生：未来を考える・創るSDGsエネルギー学習推進ベースキャンプ
- こどもエコクラブ小学生部門「全国エコ活コンクール」壁新聞・絵日記及び中高校生動画部門「Youth賞」
- 下水道の日「下水道いろいろコンクール」小中学生
- 「生命を見つめるフォト&エッセー」小中高校生
- 環境フォトコンテスト小中高・高等専門学校
- 全国児童才能開発コンテスト小学生
- 「全国小中学生」紙リサイクルコンテスト
- 「自然科学観察コンクール」小中学生
- 中高生情報学コンテスト
- 「日本学生科学賞」中高校生
- 「全国学芸サイエンスコンクール」小中高生
- 「科学の甲子園」中高生
- 「長野県発明くふう展」・「全日本学生児童発明くふう展」小中高生など



車いす用買い物かご補助アーム

「第82回全日本学生児童発明くふう展」へ応募中／県大会は関東経済産業局長奨励賞受賞

長野県立上田千曲高等学校3年

安藤秀明、久保倅輝

【文責】有賀 宏道

(日本環境教育学会会員 中部支部運営委員・日本理科教育学会会員・環境アセスメント学会会員)